

# 緑のカーテンでエコライフ

「緑のカーテン」とは、ツル性の植物で作る自然のカーテンのことです。育てて収穫する楽しみに加え、窓から入る日差しを遮ることができるので、節電対策にも効果的です。

市では、地球温暖化対策の一環として、家庭などでの緑のカーテン設置を推進するために「苗の配布」および「緑のカーテンコンテスト」を実施します。皆さんも緑のカーテンでエコライフを始めてみませんか。

## 緑のカーテン用苗の配布

- ▶日時 5月20日(日)
  - 【整理券配布】午前8時
  - 【苗の配布】午前8時30分～10時
- ▶配布場所 産業文化会館南側芝生広場
  - ※行田軽トラ朝市会場で配布します。
- ▶配布する植物 1世帯につき、ゴーヤ・白ゴーヤの苗 各1株
- ▶対象 市内在住の方(先着200世帯)
- ▶その他
  - ・必ず緑のカーテンを設置してください。
  - ・設置に必要なネットや肥料などは、各自で用意してください。
  - ・電話などでの予約は受け付けません。
  - ・本市の緑のカーテンコンテストに応募してください。

## 緑のカーテンコンテスト

- ▶応募資格 市内の住宅、事業所などにツル性植物による緑のカーテンを平成30年4月以降に設置している方。
- ▶募集時期 9月上旬～下旬
- ▶応募および審査方法
  - 設置した最盛期の緑のカーテンを撮影していただき、それを基にカーテンの生育状況、効果、創意工夫などについて総合的に審査を行います。
- ▶表彰 【家庭の部】5点  
【団体の部】3点
  - ※入選者には賞状および記念品を贈呈します。
- ▶その他 募集開始日や応募方法などは、「市報ぎょうだ」8月号でお知らせします。
- ▶問い合わせ 環境課環境政策担当 ☎556-9530

# エコライフDAY2017冬の結果をお知らせします

エコライフDAYとは、省エネ・省資源など環境に配慮した一日を送り、簡単なチェックシートで温室効果ガスである二酸化炭素の削減量を把握し、ライフスタイルを見直すきっかけを作る取り組みです。

市では市内の小・中学生とその家族に協力をいただき、平成29年12月11日から17日の期間内の一日について実施しました。また、エコライフDAY実施の募集をしたところ、4団体(二持田第一自治会、第二谷郷新田自治会、持田西自治会、ものづくり大学)から応募があり、それぞれ期間を設定し、実施していただきました。

今回のエコライフDAYにより削減できた二酸化炭素の量は3,112,243グラムとなりました。これは約1,319リットルのガソリンを燃焼させたときに排出する二酸化炭素の量と同じです。

参加区分※1		参加数(人)	二酸化炭素削減量(g)	一人あたりの削減量(g)
小学5年生	児童	548	585,535	1,068
	家族、教職員	715	793,528	1,110
中学2年生	生徒	613	652,081	1,064
	家族、教職員	53	51,679	975
一般	※2	492	510,267	1,037
市役所	職員など	569	519,153	912
合計		2,990	3,112,243	1,041

※1 参加区分によってチェック項目が異なります。

※2 一般は4団体(二持田第一自治会、第二谷郷新田自治会、持田西自治会、ものづくり大学)の合計です。団体別の詳細は市ホームページに掲載しています。

▶問い合わせ 環境課環境政策担当 ☎556-9530

## 行田市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画及び行田市災害廃棄物処理計画を公表しています

市では、一般廃棄物(ごみ)の適正な処理を行うために必要な基本的事項などを定めた「行田市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」と災害廃棄物の適正な処理を行うための業務内容などを定めた「行田市災害廃棄物処理計画」を次の場所で公表しています。

▼公表場所 市政情報コーナー、南河原支所、中央公民館および地域公民館

※市ホームページでもご覧いただけます。

▼問い合わせ 同課環境業務担当 ☎556-9530

## ごみゼロ運動を実施します

生活環境の美化を図るため、全市民参加の市内一斉清掃(ごみゼロ運動)を行います。市民の皆さんのご協力をお願いします。

▼日時 5月20日(日)午前8時～10時

※悪天候の場合は27日(日)

▼その他 悪天候などにより中止する場合は午前6時30分に防災行政無線でお知らせします。

▼問い合わせ 環境課環境業務担当 ☎556-9530

# 環境調査結果をお知らせします

市では毎年、河川の水質および底質、大気および土壌中のダイオキシン類に関する調査を実施しています。平成29年度の結果は次のとおりです。

## 1. 河川の水質(年平均値)

【調査日】平成29年5月22日、8月16日、11月10日、平成30年2月20日

【結果】長野落および左幹線水路のBODは環境基準値を超えていましたが、それ以外は環境基準値を下回りました。

測定地点	pH	BOD(mg/ℓ)	SS(mg/ℓ)
新忍川	7.5	3.7	18
長野落	7.7	15.6	17
北河原用水	7.7	3.8	23
左幹線水路	8.3	5.6	22
酒巻導水路	8.1	2.5	16
環境基準値	6.5～8.5	5以下	50以下

- ・pH(水素イオン濃度指数)：酸性かアルカリ性かの指標、7が中性
  - ・BOD(生物化学的酸素要求量)：有機物汚濁の指標
  - ・SS(浮遊物質)：水中に漂っている固形物質の量
- ※測定は年4回、各河川の上流・中流・下流で行っており、左記の結果は各河川の年間平均値です。なお、測定結果の詳細は市ホームページで公表しています。

## 2. 河川の底質

【調査日】平成30年1月24日

【結果】底質を除去しなければならない基準である「底質の暫定除去基準」を下回り、良好な結果となりました。

測定地点		総水銀(mg/kg(dry))	ポリ塩化ビフェニル(mg/kg(dry))
長野落	上流	0.32	0.01未満
	中流	0.04	0.01未満
北河原用水	上流	0.03	0.01未満
	中流	0.03	0.01未満
底質の暫定除去基準		25以下	10以下

## 3. 大気中のダイオキシン類

【調査日】[夏季]平成29年8月8日～15日

[冬季]平成29年12月7日～14日

【結果】環境基準値を下回り、良好な結果となりました。

調査地点	ダイオキシン類濃度(年平均値)(pg-TEQ/m <sup>3</sup> )
行田市役所	0.028
南河原支所	0.034
荒木公民館	0.035
環境基準値	0.6以下

▶問い合わせ 環境課環境政策担当 ☎556-9530

## 4. 土壌中のダイオキシン類

【調査日】平成29年8月15日

【結果】環境基準値を下回り、良好な結果となりました。

調査地点	ダイオキシン類濃度(pg-TEQ/g)
太子公園	4.2
持田南公園	6.3
つまき公園	1.1
環境基準値	1,000以下

市では河川の汚染防止対策として、合併処理浄化槽の設置や適正使用の推進をしています。また、ダイオキシン防止対策として、野焼きに対する指導を行っています。